

## 平成30年度第2回5月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成30年5月10日(木) 午前11時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名  
出席委員8名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	滝田純子
	委員	竹内明子
	委員	大島幸雄
	委員	荒川政利
	委員	河又弘子
	委員	白幡冬彦
	委員	和田裕二

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	編成部長	大谷佳久
	報道制作局	岩下賢一郎

4. 議 題

(1) 「栃木放送タギル」について

毎週月～水曜 9:00～13:00

(平成30年4月23日(月)～25日(水)放送分

説明 報道制作局 岩下賢一郎

(2) その他

## 5. 議事内容

### (1) 「栃木放送タギル」について

試聴番組：4月23日～25日に放送した番組を予め試聴。

議題説明：報道制作局の岩下が番組の企画・制作内容について説明した。

番組コンセプトは「<sup>たぎ</sup>滾り」。55周年を前面に出すためタイトルにあえて「栃木放送」を入れた。力強い番組を放送しようとパーソナリティーの個性をより強く打ち出していることなどを説明して審議に入る。

各委員からは、

- いろいろなジャンルがあり、人選がこの番組の成否を決める大きな要因になる。もう少し消費者目線での説明が欲しい。
- 地元愛が重要で、地元をできるだけ多く発信すれば、ラジコを通して全国に聴いてもらえるようになる。パーソナリティーに「じんのすけ」を起用するなど良い人選をしている。餃子会のコーナーのBGMが慌ただしい。パーソナリティーが挑戦する「民謡マナブ」は面白い試みだと思う。
- 笑い声が明るくて良い。BGMは全体的に聞きやすかった。「とちぎぷらぷら」は勉強になった。
- パーソナリティーとゲストが親密すぎて話がよくわからない。もう少しわかりやすく内容を掘り下げてほしい。地域社会で頑張っている人を明るく取り上げてもらえると良い。
- 餃子会のコーナーに好感が持てる。餃子のことを意外と知らない方もいるのではないか。
- パーソナリティーやゲストを知らない方が聴くと、親密すぎて全体的に内輪話に聴こえる。コーナーの作成意図が伝わらないので冒頭にどのようなコーナーか紹介してもらえると良い。
- 高齢の方には、内輪の盛り上がりや話し方や会話のテンポについていけないと思う。ファイナンシャルプランナーとはどのような仕事かなど、もう少し内容の説明があると良い。
- テンポが速くて、笑いが多く、無駄話が多い。前置きが長くて早く本題に入ってほしいと思った。パーソナリティーの話に深みがない。もう少し掘り下げてほしい。テンポを遅くしてもっとわかりやすくしてほしい。
- 山や田畑を含め、栃木のきれいな自然など大切にしていかなければならないことをもっと取り上げてほしい。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(平成30年5月27日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(平成30年5月31日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(平成30年5月27日～)

以上